

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 新会長就任挨拶

(平成24年6月12日懇談会挨拶より)



新会長 長榮周作

このたび会長に選任されました長榮周作でございます。

会員の皆様には協会の運営に日頃からご尽力賜っています事を改めて厚く御礼申し上げます。

前任の藤本会長におかれましては、2年間にわたり当協会の運営に先頭に立って取り組んでこられました。今後は副会長として引き続き協会運営のご支援を頂く事になりました。又、木瀬前副会長も高い知見をもってご指導くださいました。お二方には重ねて感謝申し上げます。

さて、今年度は当協会が一般社団法人として新たなスタートを切る初年度であります。「建材・設備産業界が真に1つの業界としてまとめ、建産協がその中心的役割を果たす」と言う皆様のご期待に応えられるよう、狐塚新副会長はじめ、藤本副会長、吉田副会長、藤森副会長並びに皆様方と協力し、又関係各位のご支援を賜りながら更なる協会活動の充実を図ってまいります。

わが国の建築・設備産業界は震災復興に向けてようやく動きが本格化しつつあり、5月の月例報告でも「住宅建設は、このところ持ち直しの動き」との発表がありましたが、実感に乏しく、また材料費の高騰や職人の人手不足といった問題の長期化が懸念されております。

又、欧州の債務問題や国内の電力需給問題などは依然不透明な状況にあると言わざるを得ません。一方で、今年度の国内の市況には、いくつかのフォローの風が吹いております。

一つは、5月22日に開業し、大きな注目を浴びている東京スカイツリー効果です。パナソニックグループでも、高い省エネ効果を実現しながら夜間に美しくツリーを照らすLED照明を納入させていただきましたので、無事開業し、皆様に喜んでいただいていることは、大変嬉しいかぎりです。東京スカイツリーとそれを中心とする街区「東京スカイツリータウン」への年間来場者数は3,200万人を超えるとされ、経済効果は全国で1,700億円超と予想されています。

もう一つのフォローの風は、再生可能エネルギーの全量買い取り制度が7月からスタートすることです。今後メガソーラーを中心に太陽光発電システムの需要が大きく伸長する事が予想されます。

住宅向けにつきましても、今年はスマートハウス元年とも呼ばれており、太陽光発電、蓄電池、ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)といった「新三種の神器」と呼ばれる商品やシステムの導入が一気に進むものと予測しております。こういった、電気を創る、蓄える、賢く使うというソリューションに加え、遮光や自然光の利用、断熱・遮熱、外気利用といった、エネルギーを使わずに自然との調和を図りながら、快適でエコな空間を実現するソリューションも今後ますます必要となってまいります。建材・設備産業界としては、これらの時流に適切に対応し、消費者が求める商品やシステム、サービスを提供していく責任を負っております。

当協会と致しましては、「安心・安全・快適な暮らし」の実現に向けて注力し、業界の更なる発展に努めてまいります。

それでは、今年度協会として取り組む4つの重点テーマについてご説明いたします。

先ず第1に、住宅・建築物における省エネ対策に引き続き取り組んでまいります。藤本前会長が参画されました「低炭素社会の実現に向けた住まいと住まい方会議」においても建材・設備機器が果たす役割の大きさが改めて再認識されました。その具体的取り組みとしまして、標準化委員会では浴室ユニットの省エネ性能のJIS改訂に向けた検討や窓の遮熱性能の計算・試験方法のJIS制定、加えて窓の断熱性能を国際規格(ISO)化していく活動。また、省エネ・環境委員会におけるマンションの省エネ改修を促進する支援・広報活動や経済産業省と連携の下、新しい断熱材の性能表示の仕組みづくりなどです。

第2に、グリーン建材のアジア諸国への普及活動を支援してまいります。昨年新設いたしました国際委員会を中心に、将来アジア各国へ日本の優れたグリーン建材を普及させる上で必要な、国際標準を初め、各国の規格、基準、認証制度などの情報を収集し、更にデータ化し、適宜提供してまいります。

第3に、「カタラボ」事業の拡大です。おかげさまで5月のアクセス数は2,081万ページビューと新記録を達成する事が出来ました。この1年間でも参加企業数、掲載カタログ数、ページ数も急速に伸びてきております。今後もスマートフォン・タブレット端末での活用で利便性の向上と利用者目線で次世代のカタラボのあり方についても検討を深めてまいります。合わせて協会の収益の柱に育ててまいります。

第4に、財政基盤の安定化です。皆様のご協力やカタラボの拡大により財政基盤は大幅に改善されてまいりました。今後も手綱を緩めることなく、委員会活動の強化や見直しを図り、経費についてもメリハリを付けながら引き続き努力してまいります。

冒頭にも申し上げましたとおり、当協会は一般社団法人として生まれ変わりました。今まで以上に会員企業・団体の皆様にとって魅力ある、求められる協会を目指し、プレゼンスの更なる向上に取り組む所存です。

皆様方の今後益々のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。